

分野		補完的な道路の整備		事業番号	86	事業名	県単道路改築						
市町村名		駒ヶ根市		ふりがな箇所名	(一)西伊那線		おおくら大曾倉	事業年度(完了年度は見込み)	H25	年度～	H26	年度	
事業概要	区分	事業内容			事業費(千円)		財源内訳(千円)						
	全体	道路拡幅工 L=115m W=5.0(6.0)m (うち橋梁25m)			25,000		国庫	その他	県債	22,500		一般財源	2,500
	H25年度	道路拡幅工L=101m			9,000				8,100	900			
箇所評価	区分	評価項目・指標等			評価				ランク	評点			
	必要性 (30)	計画交通量	<input type="checkbox"/>	4,000台/日以上	<input type="checkbox"/>	1,500台以上～10,000台/日未満	<input checked="" type="checkbox"/>	1,500台未満	B	0			
		代替道路	<input checked="" type="checkbox"/>	唯一の道路である	<input type="checkbox"/>	代替となる道路がある		5					
		ネットワーク(道路網)	<input type="checkbox"/>	バス路線である	<input checked="" type="checkbox"/>	B 駅やICなどに通じるまたは役場と交通結節点や支所などを結ぶ路線	<input type="checkbox"/>	A及びBに該当しない		3			
			<input checked="" type="checkbox"/>	ボトルネック箇所	<input type="checkbox"/>	ボトルネック箇所でない		4					
		各事業特有の必要性(安全の確保)	<input type="checkbox"/>	観光地に通じる道路	<input checked="" type="checkbox"/>	観光地に通じる道路ではない		0					
			<input checked="" type="checkbox"/>	4.0m未満又は30m未満又は8%以上(幅員、半径、勾配)	<input type="checkbox"/>	4.0m以上5.5m未満(幅員)	<input type="checkbox"/>	5.5m以上(幅員)		6			
		<input type="checkbox"/>	自動車と自転車・歩行者との分離を図る	<input type="checkbox"/>	歩道はあるが不十分であるものを再整備	<input checked="" type="checkbox"/>	自動車と自転車・歩行者との分離がなされていない	0					
		他事業との関連	<input type="checkbox"/>	河川改修、新幹線、高速道などの事業に関連して実施				0					
	小計							18					
	重要性 (10)	設計上の環境・景観配慮	<input checked="" type="checkbox"/>	環境・景観配慮がされ確実性が高い	<input type="checkbox"/>	環境・景観配慮がされているが確実性が低い	<input type="checkbox"/>	環境・景観配慮をしていない	A	5			
		地域の法的な位置付け	<input type="checkbox"/>	緊急輸送路(1次)に位置付けられている	<input checked="" type="checkbox"/>	緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪地域、過疎地域、地質防災対策強化地域、緊急整備実施計画認定地域に位置付けられている	<input type="checkbox"/>	特別な位置づけはない		3			
		小計								8			
	効率性 (20)	費用対効果	<input checked="" type="checkbox"/>	B/C(3便益)1.0以上	<input type="checkbox"/>	B/C(3便益)1.0未満(3便益以外の観点から一定の効果が得られる)	<input type="checkbox"/>	B/C(3便益)1.0未満	A	5			
		事業効果の早期発現(H25以降残事業年数)	<input checked="" type="checkbox"/>	事業年数 3年以内	<input type="checkbox"/>	事業年数 4年～5年以内	<input type="checkbox"/>	事業年数 6年以上		8			
		コスト縮減	<input type="checkbox"/>	全体的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	<input checked="" type="checkbox"/>	部分的に構造物・規格等についてコスト縮減を実施している。	<input type="checkbox"/>	コスト縮減はしていない		5			
		小計								18			
	緊急性 (20)	安全性の向上	<input type="checkbox"/>	交通事故や落石等の危険箇所の安全を向上させる	<input checked="" type="checkbox"/>	交通事故や落石等の危険箇所指定はないが安全を向上させる	<input type="checkbox"/>	交通事故や落石等の危険がない	B	6			
		各事業特有の緊急性(医療・福祉)	<input type="checkbox"/>	医療・福祉の連携が発揮できる道路(ネック箇所の解消)	<input checked="" type="checkbox"/>	医療・福祉の連携が発揮できる道路(円滑化が図れる)	<input type="checkbox"/>	医療・福祉の連携に関係ない道路		6			
		小計								12			
計画 熟度 (20)	地域からの要望	<input checked="" type="checkbox"/>	地域住民の内発的な要望が強い	<input type="checkbox"/>	市町村からの要望	<input type="checkbox"/>	特に要望がない	A	7				
	事業情報の共有	<input type="checkbox"/>	関係者以外に広く周知	<input checked="" type="checkbox"/>	関係者中心に周知	<input type="checkbox"/>	特に周知していない		5				
	住民参加の状況	<input type="checkbox"/>	住民が計画策定に直接参加	<input checked="" type="checkbox"/>	住民や市町村の意見を計画策定に反映	<input type="checkbox"/>	特に住民意見は反映していない		4				
	小計								16				
費用対効果(B/C)		2.1		評価の合計				B	72				
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は、大曾倉地区における唯一の生活道路であり、駒ヶ根カントリークラブへの道路となっている。当箇所は橋梁の幅員が狭く、高欄が車道に出ている状態であり非常に危険な状況となっている。											
	地域からの要望経緯	毎年、現地調査において拡幅の要望有り。											
	事業説明等の経緯	平成24.11.29に自治組合及び地権者に事業説明を実施し、計画について合意を得た。											
	環境・景観への配慮項目	大規模な橋梁架け替えは実施せず、プレキャスト製品による拡幅とし、最小限の計画とした。											
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。											
	特記事項	地権者賛成。早期の着手要望有り。											
地域の合意形成		<input checked="" type="checkbox"/>	全員賛成	<input type="checkbox"/>	概ね賛成	<input type="checkbox"/>	過半数賛成	<input type="checkbox"/>	動向不明				
部意見	生活道路としての安全確保を図るとともに、地域の要望も強いことから、事業を実施したい。				行政改革課意見		重要性が認められる。						